



ロッテは企業理念に基づき、
 持続可能な社会の実現に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。
 ここでは、2017年4月から2018年3月までに取り組んだ活動をご紹介します。

2018
 6月

災害時に物資を無償提供する 防災協定を締結

ロッテは、工場所在地の自治体との「防災協定」締結を進めています。
 防災協定は自治体と民間企業が取り結ぶもので、災害発生時における人的・物的支援について定めた協定です。ロッテでは、2017年1月19日に埼玉県狭山市、2017年6月1日に滋賀県近江八幡市、同8日に福岡県筑後市と協定を締結しました。
 協定に基づき、災害発生時には、狭山市・筑後市では菓子類、近江八幡市では菓子類及び生活水の供給に協力します。また、埼玉県さいたま市とロッテ及び千葉ロッテマリーンズは、災害時にロッテ浦和球場を避難場所として使用することでも合意しています。



各自治体と防災協定を締結（左から狭山市、近江八幡市、筑後市）

2018
1月

食品安全マネジメントシステム FSSC22000の認証を取得



2018年1月に浦和工場、狭山工場、滋賀工場が、3月に九州工場が、より食品安全にフォーカスした食品安全マネジメントシステム（FSSC22000、ISO22000、食品安全マネジメント協会JFS-C規格）を取得しました。

FSSC（エフエスエスシー）22000及びISO（アイエスオー）22000は、消費者に安全な食品を提供することを目的とした食品安全の国際的な認証規格です。JFS-C（ジェイエフエスシー）は、食品安全マネジメント協会（JFSM）が所有権をもつもので、日本発の第三者認証制度として、今後国際的に利用されることが期待されています。



2018
6月

「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」の 1社に認定



2018
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

2018年2月、「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」の1社として認定されました（認定期間2018年2月20日～2019年3月31日）。

健康経営優良法人認定制度は、経済産業省が主管し、優良な健康経営を実施している企業を認定する制度です。今回の認定では、日ごろから従業員の健康維持・増進に取り組んでいることが評価されました。

会社の発展は従業員の健康と共にあると考え、今後も心身ともに健康に働ける環境づくりに取り組んでいきます。

2018
3月

事業所内保育所 「ハッピーマーチ保育園」を開設



ロッテは2018年3月、浦和工場と狭山工場の近隣地に事業所内保育所を開設し、4月2日に、従業員が利用できる「ハッピーマーチ保育園」として開園しました。

ハッピーマーチ保育園は、内閣府の子育て支援制度「企業主導型保育事業」を活用して設立されました。従業員の仕事と家庭の両立を支援することはもちろん、地域の待機児童の状況緩和にも貢献することを目的としています。

多様な社員がいきいき活躍できる環境づくりの一環として、今後も、従業員が子育てをしながら安心して仕事を続けられるようサポートしていきます。



ハッピーマーチ保育園

2018
3月

サステナビリティ活動の 重要課題(マテリアリティ)を整理

サステナビリティ活動で今後取り組むべき課題を明確にするため、自社の重要課題（マテリアリティ）の抽出・整理を行いました。

部門横断のグループワークを複数回実施したほか、外部の有識者にもご意見をいただき、事業活動を通じて取り組むべきテーマを、「食の安全・安心」「食と健康」「環境」「持続可能な調達」「従業員の能力発揮」の5つに整理しました。

詳細は「特集 ロッテのサステナビリティ」でご覧いただけます。